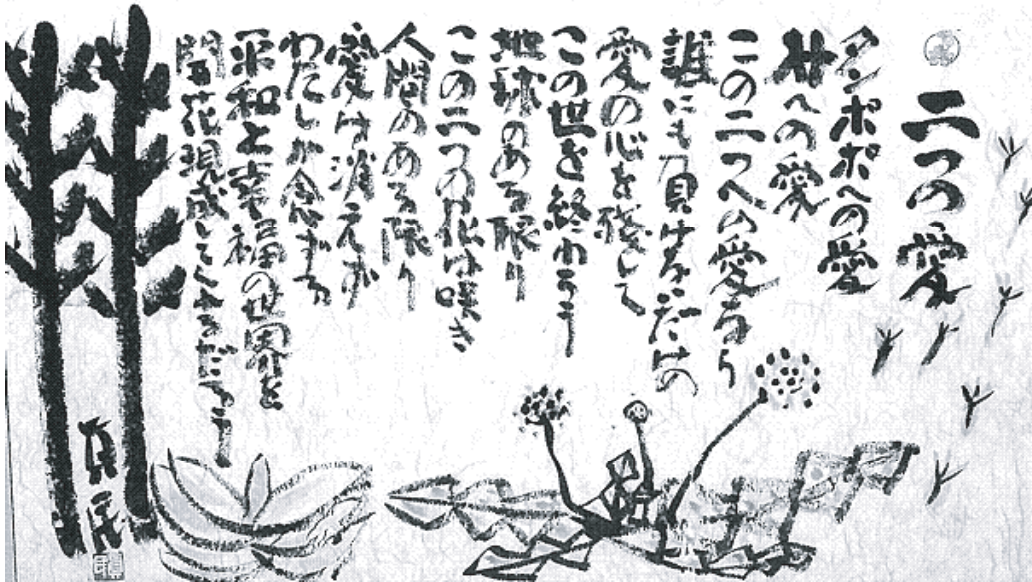


笑う門には 福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志



坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

雑巾

日本人に昔から親しまれてきたものに「道歌」があります。

「道歌」とは人の生き方を和歌の形にして説いたものです。五・七・五・七・七に合わせると、リズムが良くなり、覚えやすくなるため、江戸時代になって盛んに作られ、人々の口から口へと広がっていきました。

「道歌」の中には、次の歌のように、よく知られたものもあります。

孝行を したい頃には 親はなし

孝のしどきは 今とこそ知れ

この歌の上の句を知らない人はいないでしょう。次の歌の上の句もまた有名で、よく耳にするでしょう。

いつまでも あると思うな 親と金

ないとと思うな 運と災難

次の歌は、現代でも、その言葉の綾に共鳴する人が多いようです。

雑巾も 当て字で書けば 蔵と金

こちらふくふく* あちらふくふく

今の時代にも忘れてはならない教えや心の持ちようなど、「道歌」には先人の知恵が凝縮されているのです。

●昔の教えを見直しましょう

「職場の教養」より

宇和ちゃんの啖呵¹短歌

赤多しされど健気^{けなげ}に白もあり
媚^{なま}びず靡^なかず凜と咲きおり

何もないことが幸せなどと言われ丸め込まれていないか我ら

秋田 緑の言の葉カード



★「言の葉ネットショップ」から購入できます。

<http://greenti.shop-pro.jp>

保親さんの人生万感

安心して子を産むこともままならぬ

町の産院みな廃院す

鯛雲ひろがれ吾子の住む町へ

二人の孫は健やかなるか

秋川保親さんは東予市生まれの八十四才。「必要とされる企業人」など中小企業応援の著書多数。

○親祖先とつながっている、わが命。

一本の髪の毛から爪の一つに至るまで
すべてが「いただきもの」「恵み」。親祖先の恩に感謝したい。

道しるべ